

令和4年度事業報告

社会福祉法人 みどり園
児童養護施設 みどり園

【運営理念及び基本方針】

みどり園は、昭和22年2月の設立以来、戦後の混乱した社会に取り残された子どもたちの養護に取り組んできた。当みどり園では『子どもの尊重と最善の利益』『職員の資質・専門性の向上』『地域の福祉の拠点としての推進』を運営理念として、子ども達の日々の生活援助を通して、子どもの権利や人権を擁護し、子どもたち一人ひとりの自立・自己実現を目指してきた。また毎年4月1日の辞令交付及びみどり園全体会の際、職員と子ども達の年度目標を発表し、想いを伝えるとともに、周知を行った。

<職員の目標>

1. 健康第一
2. 報・連・相（聞いてないので知りませんではなく、確認する）
3. 子どもは、みんなで、よく見る（子どもの変化に気付く）

新型コロナウイルス感染症が引き続き猛威を振るう中、雑務にとらわれ、一人ひとりに対応することの難しさを痛感した。粘り強く子どもと対峙する必要がある、子どもの話をよく聞くためには、職員間の協力が不可欠である。

<子どもの目標>

1. 挨拶は元気よく
2. 人の話はよく聞く
3. 想像力をつけよう

子ども達の挨拶は、個人差とその時の気分で変わるので、反応を見て理解する必要がある、強要しないように心掛けた。外部からの来客等に対しては良くなってきたように感じる。生活の中で最も大切な事であり、今後も継続していく。人の話については、聞く前に自己主張が強く、時間を置く必要があるが、勤務体制上難しい場合があった。時がたてば子どもは忘れてしまうこともあり、工夫する必要性を感じた。創造する力は、どの子も乏しいと感じる。どのように想像力を育てていくか今後の課題である。

事業計画・行事等は、やはりコロナの影響もあり、変更や中止となった部分もあったが、職員一人ひとりがこれまで培ってきた専門性（知識・技術・倫理）を活用して、子ども達が「自ら考え、自ら行動する力」を身につけるため、日常生活を通して自立支援に取り組んだ。

<児童の入退所の月別状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
現員	39	39	39	40	40	40	40	42 (2)	42 (2)	41	41	40	
入所	1			1				2(2)	3(3)	1			8(5)
退所	2								3(3)	2(2)			7(5)

*一時保護委託数（再掲）

<児童編成(令和5年3月31日現在)>

	3歳未満	未就学児	小学生	中学生	高校生	その他	合計
男	0	4	9	5	5	0	23
女	1	2	6	3	4	0	16
合計	1	6	15	8	9	0	39

【主な事業の内容】

(1) 園内生活について

子どもたちが、明るく、衛生的な環境の下で、心身ともに健やかに、安心して生活が送れるよう努めた。コロナ禍ではあるが、外で遊ぶことが出来る環境があり、成長することできた1年だった。

① 生活環境の整備

子どもたちの安全を確保し安全に生活できるように、環境委員会による施設内の環境整備・点検等を行った。また、管理棟・男子棟周囲及び、駐車場、通学路等の園外構、猪避け柵等設置の整備を実施した。また、研修室を利用し、一人暮らしの練習や料理等子ども達の自立訓練を行った。

② 保健・衛生

日頃から嘱託医と連携して、子どもたちの身体状況の把握や病気の予防に努めるとともに、毎日の手洗い、うがいを習慣づけ、風邪やインフルエンザ、特に、新型コロナ

ナウイルス等の感染症については、感染レベルに応じた対応が出来るよう体制を強化し、職員一丸となって取り組んだ。また、子どもたちが毎日使用する風呂やトイレ、洗面所等の掃除を子どもたちと一緒にいき、衛生的な管理に努めた。

③ 給食

子どもたちの発育段階に適した安全で、変化に富み、栄養量を満たした給食を提供するため、給食の在り方（献立、食器、設備、給食指導）を検討する職員による給食会議や子どもの意見や要望を給食に取り入れるための子どもと関係職員による給食委員会を開催し、給食の充実に取り組んだ。食の大切さを学び、将来の自立に向けて子どもたちと職員と一緒に調理実習を実施した。また、園内の畑で玉ねぎ、きゅうり、ジャガイモ等を育て、子ども達と共に収穫を行った。

④ 行事

行事の企画・運営に子どもたちが積極的に参加することで、これまでの「施設（職員）任せ」の体質を改善し、子どもたちが主体性を発揮できるように努めた。また、子どもと職員のコミュニケーションを図り、相互理解を深めるための園内スポーツ大会を開催し、一緒に汗を流して楽しい時間を過ごすことができた。

⑤ 地域との交流

例年、上天草市や地元校区の方々も招待していた夏祭りは、園内のみで開催となった。その他、清掃活動等の実施、年末の地域の一人暮らし世帯への山菜おこわ配布等実施した。パールラインマラソンは、いるかホームの小学生と職員が参加した。

(2) 自立支援について

豊かな人間性と自分でやろうとする意欲（主体性）を育て、将来の自立に向けた社会性を身につけるため、子どもたち一人ひとりの課題に応じた自立支援計画票を作成して支援に取り組んだ。

① 基本的な生活習慣の確立

一般家庭の生活日課等を参考にしながら、子どもたちの年齢や課題に応じた生活日課の見直しに取り組んだ。まだ、十分ではないが、子どもたちに落ち着きが見られるようになり、ゆとりのある生活が送れるようになってきた。ただ、学校生活においては以前に比べると適応できるようになったものの課題の達成とまではいかない児童もあり、これまで同様、学校との連絡を密にし、子どもの状況を把握するよう努めた。

② 社会適応能力の向上

例年、子どもたちの見聞を広げ、将来の自立に向けた社会適応能力の向上を図るため、公共交通機関を利用した社会見学や買物等を実施している。今年度は実施することが難しい状況であったが、職員と子どもたちが意見を出し合いながら、工夫して行った。

③ 家庭支援

早期の家庭復帰が可能と思われる子どもの保護者に対して、家庭環境の調整や必要に応じた支援に家庭支援専門相談員を中心に取り組んだ。児童相談所及び関係機関と連携して、事前の家庭訪問・面接・調査を十分に行い、子どもの最善の利益を守るため、慎重に対応した。

<実施状況>

1. 対象児童	46名（3名アフターフォロー）
2. 支援内容	①児童相談所及び関係機関との調整 ②保護者との調整 ③保護者への相談・助言・指導 ④アフターフォロー ⑤アウトリーチ
3. 支援の成果	家庭との調整、相談対応を行い、養育力の向上や家族との関係修復を図ることが出来た。より良い親子関係の構築へとつなげる為の取り組みも行い、家庭復帰への段階的な支援を実践してきた。卒園児に対しては、連絡・訪問等、定期的な関わりを持ち、必要に応じて関係機関にも情報提供を行い、支援体制を調整することができた。卒園児の継続的なフォローも実施出来ている。 <ul style="list-style-type: none">● 家庭復帰 1名● 措置変更 1名

④ 就学に向けた支援

子ども達の学習習慣の定着のため、帰園後の学習指導に全員で取り組んだ。また、個別に指導が必要な児童に対しては公文塾等を利用し、基礎学力の向上を目指した。

⑤ 就労に向けた支援

働くことの大切さ、貴さを学ぶため、地元商店の協力を得て職場体験学習に取り組んだ。将来の職業選択の視野を広げ、適正に見るために、関係機関と連携して、アルバイトを行った。

⑥ 家庭生活体験事業の活用

例年、夏休みや冬休み等長期休暇を利用して、養育ボランティア（里親、ボランティア）の家庭に数日間宿泊している。この家庭生活体験を通して、本来の家庭のあるべき姿を理解することができるよう援助している。今年度は夏季のみの実施となった。

<実施状況>

実施期間	参加児童数	受け入れ家庭数
夏休み	2人	1軒
冬休み	0人	0軒
合計	2人	1軒

⑦ 個別対応職員による個別支援

個々の児童の状況（不登校児、被虐待児等）に応じて、手厚い対応が取れるよう、個別対応職員を配置している。

入所児童の大半が被虐待児童となりつつあり、個人個人の関わり方も、これまでと比べてより一層個別化、多様化することが求められている。不登校傾向の児童の対応に取り組むとともに学習面に支援が必要な児童に対して個別の学習支援を行った。また、近年、他者とのコミュニケーションがうまく取れず、誤解を招いたり、トラブルにまで発展する児童が多く、児童間双方から話を聞き取り調整し、どのような言葉を選べば、トラブルに発展しなかったのか振り返るといふ、個々の児童の状況に応じた個別支援に努めた。

⑧ 心理療法について

虐待等による心的外傷のため心理療法を必要とする子どもに、遊戯療法やカウンセリング等の心理療法を実施し、子どもが安心感、安全感の再形成及び人間関係の修正等を図り、子どもが自立できるように支援した。

<実施状況>

(1) 支援内容

[単位：回]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
心理面接	29	21	18	21	26	10	18	19	16	11	13	16	218
発達検査	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
医療機関への付添	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1	7
児童相談所との協議	4	1	0	3	2	1	1	2	2	1	1	2	20

(2) 心理療法を実施した子どもの年齢・主訴別実人数

	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	養護	その他	計
0～3歳未満	0	0	0	0	0	0	0
3～学齢前	0	0	0	0	0	0	0
小学生	5	1	0	0	5	0	11
中学生	0	0	1	0	2	0	3
高校生等	1	1	0	0	1	1	4
計	6	2	1	0	8	1	18

(3) 支援の成果

生活場面から少し離れた場所（心理療法室）で、定期的に心理療法士と1対1で過ごす中で、ありのままの自分を表現し受け入れられる機会を提供できた。全面的に心理療法的な支援を実施するだけでなく、心理療法室に足を運ぶことで日常生活の息抜きや、リラックスできる場になるよう、雰囲気作りにも努めた。また、昨年度に引き続き、心理療法室に留まらず、生活場面に外向き交流を図ることや、野外で共に運動や作業をすることで意図的に児童と時間を共有する機会を持った。これにより児童との関係性が深まることもあった。

今後の課題としては、自己研鑽はもちろんだが、他職種との連携を強化していきたい。心理療法は限られた時間の中で出来ることも限られている為、他職種職員との情報共有や協働がスムーズに実施されることで、よりよいケアが提供できると考える。

⑨ 地域小規模児童養護施設について

『いるかホーム』を本郷地区に移転し、今年度新たに『いちごホーム』を大潟地区に開設した。地区子ども会等に積極的に参加しながら、ひとつ屋根の下、家庭的でよりきめ細やかなケアを行うことが出来た。また、手厚い個別での対応が可能となり、一人ひとりの課題に対し時間をかけて向き合うことができた。団欒や買物などを実施し、家庭に近い雰囲気が味わえるよう努めた。

⑩ 子どもの権利擁護について

子どもの「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」を保障することを基本とし、支援にあたってきた。具体的な取り組みとして、「要望ポスト」を各所に設置しているほか、安全委員会による子どもの意見や要望等の聞き取りを行った。また、アドボカシー研修として、外部講師を招き職員研修を行った。

(3) 地域支援について

地域の家庭が抱える子育ての悩みやDV等の諸問題に、上天草市や関係機関との協議会を立ち上げ、地域福祉の推進に取り組んだ。また、地元上天草市の家庭相談員、児童民生員と連携して、要保護児童の早期発見に協力した。

① 地域における子育て支援

地域の子育て家庭支援のため、上天草市・天草市・宇城市に加え、令和4年10月より宇土市と子育て短期支援事業の受託契約を締結し、ショートステイ・トワイライトステイを受入れた。

<令和4年度実績>

事業名	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ショートステイ	利用人数		5	4	1	4	2	8	5	2	4		3	38
	利用日数		7	4	2	8	4	8	6	4	4		2	49
トワイライトステイ	利用人数	2	3	2	2	4				3	2			18
	利用日数	2	1	1	2	4				3	1			14
合計	利用日数	2	8	6	3	8	2	8	5	5	6		3	56
	利用人数	2	8	5	4	12	4	8	6	7	5		2	63

(4) その他の取り組み

① 里親支援について

今年度は委託里親定期家庭訪問2世帯（養育1・特養1）を実施し、また、周知啓発活動では天草イオンや天草市協力のもと天草こころすパネル展を実施し里親周知のご理解とご協力をお願いした。特に、天草イオンでの周知活動をきっかけに2世帯登録につながり、上天草市1世帯登録を合わせて3世帯登録となった。

<令和4年度活動実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
里親の新規開拓	1	3	1	1	1	1	2	2		3	1		16
里親委託の推進					2			1					3
里親への研修(実習)		1	2	4			1	1	4	2	1		16
委託家庭訪問	1	1		1	1	1	1	2	4	1		3	16
未委託家庭訪問	1	1	1	2			1						6
里親会への参加		1											1

② 情報公開について

法令に則って施設の管理ならびに運営等の情報公開に努め、県民に理解される開かれた施設づくりに取り組んだ。各地域の児童民生委員会の視察を受け入れ、啓発活動を実施した。

③ 職員の資質向上について

職員の専門性を高め、子どもたちの処遇向上を図るため、また、業務のマンネリ化を防ぎ、スキルアップを図るため、園内、又はオンラインにて研修等を実施した。

④ 教育機関との連携状況

1 対象機関

- ① 登立小学校：15人 ② 大矢野中学校：9人 ③ 上天草高校：5人
- ④ 天草高校：1人 ⑤ 八代農業高校：1人 ⑥ ひのくに高等支援学校：1人
- ⑦ 鏡わかあゆ高等支援学校：1人 ⑧ ひまわりメソッドこども園：5人
- ⑨ 園内保育：2名

2 内容

- ① みどり園学校での生活状況について意見交換
- ② 保護者及び関係機関の動向について連絡
- ③ 子どもの問題行動等の対応についての協議

3 実施回数

- ① 登立小学校 年3回実施
- ② 大矢野中学校 年10回実施（問題が派生した時は随時実施）
- ③ 各種高等学校 高校の要請に応じて実施
- ④ ひまわりメソッド こども園の要請に応じて実施

(5) 令和4年度主要行事、学校行事、養護協議会主催等参加報告書

月	施設行事	学校行事	養護協議会他主催行事	その他(児相・地域など)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・辞令交付 ・花見 ・職員会議(毎月) ・避難訓練、点検(毎月) ・自立支援会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・入学式 ・学校連絡会 小-隔月、中-毎月 ・実力テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務担当者部会-総会 ・SW部会-総会 ・CP部会-総会 ・CW部会-代表者会 ・里専-定例会(毎月2回) ・行事委員会 ・親睦球技監督会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・援助指針会議(各児相) ・みどりの会交流
5	<ul style="list-style-type: none"> ・園内スポーツ ・理事会 ・園内職員研修(毎月) ・ケース会議(毎月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・体育大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長会議 ・CW部会-総会 ・給食担当者部会-総会 ・親睦球技大会 ・施設親善ハレ-ボール大会 →中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩谷地区-子ども会
6	<ul style="list-style-type: none"> ・監査説明会 ・評議員会 ・健康診断 ・被服購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール開き 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務担当者部会-総会 ・夏季球技大会打合せ ・九州児童養護施設職員研究大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩谷地区-清掃作業 ・天青楽校(6~3月) ・みどりの会-七夕
7	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕 ・園にて学校連絡会(小) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観学級懇談会 ・期末テスト ・PTA作業(小) ・学年行事(小) ・終業式 ・水泳記録会(小) ・海岸清掃(小・中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長会議 ・SW部会-定例会 ・CW部会-代表者会 ・夏季球技大会 ・秋季スポーツ大会監督会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・みなと祭り ・地区懇談会 ・招待野球観戦 ・大湊地区-清掃作業 ・本郷地区-清掃作業
8	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体験事業 ・家庭体験事業 ・ホーム旅行 ・園夏祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校プール開放 ・三者面談(中3) ・進路確認(中、高) ・夏休み ・始業式(ひのくに) 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食担当者部会研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童個別面談(各児相)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・職員視察研修 →中止 ・自立支援会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・実力テスト ・陸上記録会(小) 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季スポーツ大会審判講習 ・秋季親善スポーツ大会打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> ・援助指針会議(各児相)

月	施設行事	学校行事	養護協議会他主催行事	その他(児相・地域など)
10	・健康診断(職員)	・中間テスト ・文化祭(中、高) ・のびっこ参観(小) ・部会音楽会(小、中) ・小修学旅行	・SW部会-研修会 ・CW部会-研修会 ・給食担当者部会-研修会 ・秋季スポーツ大会審判講習 ・施設親善ソフトボール大会	・岩谷神社祭り
11	・インフルエンザ予防接種 ・七五三 ・被服購入	・就学時健康診断 ・3者面談(中) ・授業参観	・事務担当者部会-宿泊研修 ・CP部会-研修会 ・秋季親善スポーツ大会	
12	・クリスマス会 ・社会体験事業 ・家庭体験事業 ・大掃除 ・餅つき ・理事会	・期末テスト ・中3三者面談 ・持久走大会 ・修学旅行(中) ・終業式 ・冬休み	・施設長会議 ・CW部会-代表者会 ・SW部会-定例会 ・性教育研修会	・Xmas プレゼント贈呈式 ・児童個別面談(各児相)
1	・元旦式 ・初詣 ・どんどや ・初登山	・始業式 ・実力テスト ・修学旅行(高)	・西ロータリー駅伝大会 中止 ・フットサル監督会議	
2	・節分 ・ハレンタインチョコ作り ・テーブルマナー ・卒園生外出	・のびっこフェスティバル ・公立高校前期入試	・事務担当者部会-総会 ・SW部会-総会 ・CP部会-総会 ・CW部会-総会 ・給食担当者部会-研修会 ・無料法律教室 ・親善ボーリング大会 ・卒園生壮行試合 ・グリーンフィールド杯 } 中止	・みどりの会-お別れ会 ・大湫地区-子ども会 ・本郷地区-子ども会
3	・ひなまつり ・ホワイトデー-お菓子作り ・自立支援会議 ・理事会 ・卒園児お別れ式	・期末テスト ・公立高校後期入試 ・お別れ遠足 ・卒業式 ・終了式 ・春休み ・退任式	・施設長会議	・民生委員料理教室 →中止 ・パールラインマラソン ・援助指針会議(各児相)